

異言に関する討論

ヤキマ、ワシントン州 アメリカ合衆国

1960年8月7日

1 異言で話すことに関する主題—それはペンテコステ派の人々の問題です。そして私はかなりの浮気をしました。

現在、私はさまざまなグループによって後援されているため、プラットフォーム上で問題は発生しません。そして、クリスチャンの紳士として、私は確かに誰も傷つけたくありません。彼らが私を彼らの場所に連れて行くのに十分なほどクリスチャンであり、彼らの人々がそこに座っているなら、私はそれについて何も言わないほど十分に兄弟になりたいです(参照)、そして私はただ聖霊のバプテスマを説教します、そして彼らが.. あそこでやりたいことを彼らにやらせましょう。

今、私は、霊に満ちた人々(を参照)は、自分の言語を制御できなくなるまで、聖霊に満たされることがあると信じています。私はそれを信じています。それは私に起こったし、他の人にも起こったからです。しかし、ご覧のとおり、まず聖霊がそこにいなければなりません。意味がわかりますか？ それは最初にそこになければなりません、見てください。

それはまるで...異言で話すことは聖霊の賜物のようです。

2 さて、もし私が少年で、父と母の指導を受けていて、あなたが私を養子にしたいと思っていたら、私はあなたに私のナイフを渡します。さて、あなたは私の贈り物を持っていますが、私は持っていません。さて、舌は聖霊の賜物です。ほら、聖書にはそれが聖霊であると言っている聖句はありません。それは聖霊の賜物です。今見てください。使徒行伝第2章38節:「悔い改めなさい。そして、あなたの罪の赦しのために、イエス・キリストの名によってあなた方一人一人はバプテスマを受けなさい。そうすれば、あなたは聖霊の賜物を受け取るでしょう」。彼が生まれた自分の言語で話すすべての人、見てください。そして、もしあなたが悔い改めるなら、あなたは聖霊の賜物を受け取るだろうと彼は言われました。

さて、ウィリアム・ブラナムの賜物はウィリアム・ブラナムではありません。

さて、あなたが気づくなら、あなたは「まあ、神の賜物は聖霊です」と言うでしょう。聖霊は神であるため(ね)、そこでは使用できませんでした。さて、私が話すすべては、それは聖書と一致していなければなりません。届きません。今、私は受け取るだけです...彼が私に言うとき、彼はいつも聖書でそれをクリアします。もし彼が信じなかったら、私はそれを信じなかったでしょう。彼が道に沿って私に言ったのと同じくらいですが、それでも彼が私に聖書ではないと言ったとしても、聖書は絶対に私たちの基礎であるため、それは正しくありません。他人の感覚や経験、あるいは自分自身の経験に基づいて救いを行うことはできません。それが真の印なので、それは神の言葉でなければなりません(ね)。

3 さて、私がこの議論を始めたとき、レオ兄弟がここでテープに乗ることを切望していたと思います。彼は今それを実行していると思います。レオ兄弟、これを使って傷つけたり何かをしたりしたくはありませんが、ただ...あなたがそうしないことはわかっています。

そして、兄弟たち、もし人が舌で話すなら、私はあなたに言いません、大丈夫です。彼が舌で話さない場合でも、それは彼がそれを持っていない兆候ではありません。

私は人々が乾いた牛革にエンドウ豆を注ぐように異言で話し、他の男の妻と一緒に暮らすのを見てきました。

私は魔女が人間の技から血を飲み、悪魔を呼び、異言で話すのを見ました。私は魔女とインドの魔法使いがブルダンスが入ってくるのを見たことがあります、そして彼らはこの大きな円の周りに座って彼らは出て行ってすべてのエンチャントをします、そして悪魔の医者が入って来て彼らは回ります周りを回って、これらすべてのトムトムを上下にジャンプして叫んだり叩いたりします。それから魔女の医者がやって来て異言で話し、それを彼らに解釈しました、見てください。そして、私は自分自身の中を歩いた魔女の野営地に行ったことがあります、そしてそこにありました...これはあなたがそれに行くためのアドバイスではありませんが、牧師として私は私が話していることを知っている必要があります、他人の言葉を受け取らないでください。私はそれを自分で個人的に知らなければならないからです。「ジョーンズ兄弟がこれを言った」とか「本でこれを読んだ」とは言えないからです。私の言うことを聞いている人が多すぎて、たくさんの人を失ってその最後の日に来たくないで、私は何について話しているのかを知る必要があります。私はそれが真実であることについて何かを言う前に絶対に知っていなければなりません。

そして、私はすべての牧師が彼の会衆、つまり彼が説教する人々に、彼が何かを言う前に彼が話していることを知っていることを確認する義務があると思います。

4　そしてそれで...私はスピリチュアリストが...ピアノが来て、0.5トンの重さがあり、床から持ち上げるキャンプに行ったことがあります。そして部屋の中のギターが通り抜け、音楽やそのようなすべてを打ちのめします。そして壁に掛けられたコートが通り抜けて、あなたのそばの椅子に座ります。ナイフとフォークが通り抜けてそれらを見る...; 魔法使いは一枚の紙を置き、鉛筆を取り、その上に置き、この霊が来てストーブパイプを駆け上がり、「ひげそりと散髪2ビット」を演奏して戻ってきて、未知の言葉で書きます。そして、この媒体はどのように自分自身を引き寄せ、これらをそのように上下に解釈し、それを伝え、それらの異言を解釈し、言われたことを伝えます。ですから、私がそれよりもよく知っているので、異言で話したから、聖霊を得たとは言えません。

5　さて、あなたが注目するなら...あなたが理解するように、それを賢明に適用しましょう(ね)。それが私がこれをやりたい方法です。なぜなら、私は知的な男性と話していることに気付いているからです。

ですから、聖書の第1コリント人への手紙第12章には、9つの霊的な賜物があると書かれています。さて、その時、異言はキリストの体におけるそれらの賜物の一つでした。

たとえば、簡単に説明します。私はあなたがそれを捕まえるのを知っています、しかしあなたがそれを確実に得るようにしましょう。

この部屋はキリストの体であり、一つの霊によって私たちはこの部屋にバプテスマを受けます。そしてこの部屋にはリラックスできる椅子の賜物があります。光の賜物、熱制御の賜物、ロッカーの賜物、ラウンジの賜物、敷物の玉藻音、写真の賜物があります。ね、意味がわかりますか？

6　賜物がありますが、どうやってそれが体の中に入るのですか？一つの霊によって、私たちは皆一つの体にバプテスマを受け、そしてこれらの賜物のいずれかを受けますね？したがって、異言で話すことが聖霊の証拠である場合、これらの他のすべてのものも聖霊の証拠でなければなりません。あなたはこれらの他のすべてのこと、これらの他のことをしなければなりません: 予言、解釈、知恵と知識を持っていること。しかし、その後、パウロはそれを修正し続けます。言った、「みんなが異言で話しますか？いいえ。みんなに解き明かしの賜物がありますか？しかし、神はいくつかを教会に置かれました。」を見て下さい。彼はちょうどそれをそのように修正しました。

7　それが第12章です。さて、あなたが聖霊の最初の証拠を取るために私が議論をしたところに行くなら、私はそれを愛であると見なしました。そしてもう一人の男はそれを異言で話すために(ね)、証拠として異言を持っていました。

さて、パウロは第1コリント人への手紙第13章で次のように言いました。「私たといわたしが、人々の言葉や御使たちの言葉を語っても、もし愛がなければ、わたしは、やかましい鐘や騒がしい鏡鉢と同じである。(それは両方の種類に置いて)もし愛がなければ、一切は無益である。[今、彼はこれらの贈り物についてここで体の中で話しているのです。ほら、これらの賜物を贈り主なしで持っているのです、愛、ね。]私は知恵を持っており、神のすべての知識を理解していますが、すべての聖書は、偉大な神学者のようにそれらをまとめることができ、[聖霊である]愛を持っていません。私は何者でもない。」

今、私たちは聖霊が神であることを知っています。私たちはそれを認めなければなりません、見て下さい。それは神です。それでは、神は愛です。ですから、あなたは神がいなくても神の賜物を受け取ることができます。神は愛であり、サタンはそれらの賜物のいずれかになりすますことができます。彼は変質しているので、彼はほとんど何にでもなりすますことができます。罪は義が変質したもののなのです。

8　それで、討論の中で、彼が訪問者である恵み豊かな兄弟、私は言いました、「あなたが聖書に厳密にとどまり、聖書を離れないならば、私はあなたとこれについて話し合いたいと思います。」そして私は言いました、「それなら、話し合いの終わりに、あなたは私の手を振ることができ、それでも私たちはお互いに兄弟を感じるでしょう。もしあなたがそうしなければ、私はそれをしないでしようからね。私は言いました、「おそらく、それが終わったとき、あなたはあなたと同じように感じるでしょう、そして私もそうするでしょう。」しかし、ここに宣誓したモデレーター(ビジネスマン、あなたが知っているなど)がいるということです。彼らはただ...彼らはどちらの側にも興味がありません。彼らは事実を取り下げているだけです。彼らの決定が何であれ、それはただ...5人か6人の男性が特定の聖書を形成しているだけです。この聖書が与えられたとき、誰がそれを受け取りますか？誰が本当にそれに光を当てたのか。それがそれを物語っていますね。

9 それで、彼はいつものように始めました:使徒行伝2章と4章、あなたが知っているように、彼らはすべて聖霊で満たされ、御霊が彼らに発声したので異言で話し始めました。さて、それから彼はそこから使徒行伝第10章49節に行きました。そこで「ペテロはまだこれらの言葉を話していましたが、聖霊がその言葉を聞いた彼らの上に落ちました」。さて、それから...そして彼は使徒行伝19:5に行き、「パウロは彼らに手を置き、聖霊が彼らに来て、彼らは異言で話しました。」だから、それは彼の時間のほとんどを占めています。そしてそれは私の時間でした。私たちは7時頃から午前2時頃まででした。とても長かったです。

それで、彼が戻ってきたとき...彼はそれに約30分か35分を持っていました。それから彼らは読みました一人々それから私にもう一度話させてください...私に話させてください。それで、私は彼の聖句を決して残しませんでした。私は彼の聖句を正しく守りました。それがあなたが正しく、賢明にできる唯一の方法です...私は他の誰と同じように真実が何であるかを知るためにオープンです。

10 私は間違いなく間違ったくありません。そして、私はここにいるほうがいいです。私がそこに着くには遅すぎるからです。あなたは、色のついた兄が言ったように、「私は川で問題を起こしたくない」と言いたいです。そうです。霧のかかった朝でひどい時期になるときは、手遅れになるので、チケットを手元に置いておきたいです。正しく署名してください。ね。

それで、そして私は...何かを議論するとき、私は何かを学ぶためにそれに行きます。知りたいのですが。そして、私が間違っている場合、私は確かに私が間違っていることを知りたいので(を参照)、私は正しいことができます。私はそれらのことに同意してそれを普遍的な感覚にしたいと思います、しかし私はただ...それが間違っているなら、それはただ間違っているのです。

白黒の鳥も酔った地味な男もいませんね。それは正しいか間違っているかのどちらかです。エラーと真実を一緒にすることはできません。それは真実か誤りのどちらかです、見てください。あなたはそれを信じていますね、兄弟たち? 確かに、聖書が正しければ、聖書にとどまりましょう。そして教会が正しければ...

それが私が彼らの司祭たちに言ったことです。私は「教会が正しければ、教会にとどまりなさい」と言いました。

彼は、「まあ、教会は正しいです!」と言いました。

私は言いました、「それなら、あなたは教会が...この聖書が最初の教会の歴史であると言いました。そうだとすれば、それは間違いのない教会です。なぜそんなに多くが変わっているのですか? 分かるかな...?」

11 それから彼の議論がそこに投げ出されましたね。私は「キリストがカトリック教会を組織したとあなたは言います」と言いました。「もし彼がカトリック教会を組織し、使徒ペテロと彼ら全員が最初のカトリック教徒であったなら、まあ、私もカトリック教徒です。私は彼らが言ったことを正確に言います。ええと、あなたはここから遠く離れていますね。」私は「彼らが言ったことは何もありません」と言いました。

「なぜ、最初の教皇であるペテロは、「神と人の間に仲介者はいないが、唯一の仲介者であるキリスト・イエス」と言いました。そして今、あなたは彼らを何万人も持っています。」私は言いました、「さて、どちらが...最初の教皇でしたか、それともこの教皇でしたか? どちらが正しいですか?」を参照してください。

彼は、「そうですね、カトリック教会には力があります」と言いました。

私は言いました、「それから、最初のカトリック教徒がそれを書面で言ったのはいつでしたか、『天からの天使が他の福音を説教するなら、彼を呪われさせてください。そして、この本を取り上げたり、追加したりする人は誰でも、同じことが取り上げられます。』と私は言いました。「あなたはどこかで混乱しています。あなたの最初の教会が正しいか、この教会が正しいかのどちらかです。そして、あなたの最初のものが正しかったなら、これは間違っています!」ほら、そして私は言いました、「もし彼らがカトリックだったら、私は最初のカトリック教徒と一緒にいるでしょう。」

だから、あなたが見るように、あなたは正しくなければなりません。

12 私たちだけ...話し合いをするためには、基本的に手を置くことができる何かに戻らなければなりません。なぜなら、あなたは自分の信念、信じていること、そして他のすべての人に対して同じくらいの権利を持っているからです。しかし、私たちは戻ってくる必要があります。議論することはできないので、どこから始める必要があります。「これだ」と言う場所が必要です。

もし私たち二人が...私が言ったのなら、「まあ、ブラナムタバナクルは正しい。あなたも..彼も言う...あなたは言います、「英国国教会はイギリスにあり、....」

何て言うの? [誰かが発言します。]

ええ、彼がアルメニア人であるとしましょう、ほらね、そしてあなたはオランダの改革派を取ります。さて、今、私たちはどこに行くのですか? さて、どこかにあるはずですよ。

さて、あなたは戻ってあなたのカテキズムや他のすべてなどを引用することができます。私たちは、私たちが設立された教会、創設者に戻るだけですが、これはどこに基づいているのでしょうか。そういうところがあるはずですよ。

あなたが議会で話している原則のように。あなたは正しい何かを持っている必要があります。あなたはそれをそこに配置して人々に見せなければなりません。出発点となる場所が必要です。まあ、それは彼らが聖書として行動しなければならぬ方法なのです。

13 それで、私は彼と一緒に使徒行伝2章の質問に戻ります。私は言いました、「さて、あなたは使徒行伝2章があなたがその基礎となるところだと言います。」それで、私は彼をラインから追い出すために何かを彼に与えなければならぬませんでした。

私は言いました、「あなたが[ありがとう、兄弟]、あなたがただ...私たちが今聖書にとどまるなら、私たちは今、基盤となるでしょう。」私は言いました、「さて、兄弟、私はあなたの立場に感心します」分かりますね。そして私は言いました、「あなたはここで、彼らは皆聖霊に満たされ、御霊が彼らに発声したので他の言語で話し始めたと言いました。彼らはエルサレム、ユダヤ人、天国の下のすべての国からの敬虔な人々に住んでいました。これはすべて海外で騒がれていました。彼らは一緒に来て、彼らが生まれたすべての人が彼自身の言語で話すのを聞いたので、混乱しました。」

私は彼をここに少し連れて行かなければならぬませんでした。

私は「さて、兄弟、これをお聞きしたいのですが」と言いました。

さて、覚えておいてください、聖書はこれらの不信者が...と言っています。これらの人々(ね)が現れるとは今は言われていません、彼らは建物の上の部屋の上から塔から降りてきます。それは彼ら全員が聖霊で満たされていると言いました、そしてこれらはここで、彼らは彼らが生まれた彼ら自身の舌で彼らを聞いていました、見てください。彼らは彼らの言うことを聞きました、それぞれの人が分かりますね。

「罪人たちは彼らが生まれた場所、つまり不信者たちの言葉で彼らの言うことを聞いていました。」

私は「それなら、あなたのペンテコステ派の解釈が正しければ(ね)、あなたが得たとき...」と言いました、そして今私は言いました、「それなら、使徒行伝2章に何か問題があるか、あなたの解釈に問題があります。」

14 私は言いました、「さて、兄弟よ、あなたはどこで聖霊を受けましたか?」

彼は私に分、時間、時間を教えてくれました。いい人。そして、彼は...少し傲慢です、ご存知のように、汗をかいているので、ちょっと上手くいきました。

その理由はありません、見てください。もし私がウサギを野原にペンで留めて、彼が外に出る方法がない場合、私は門に立ちます。彼は戻ってくる必要がありますが、彼は出ていません。だから、あなたはそれについて汗をかく必要はありません、あなたは正確に知っているのです、あなたは彼が出る場所がないことを知っています。

ですから、あなたはあなたが望むどんな聖書にも正しくとどまることができます。彼はここに戻らなければならぬませんね。だから、彼はどこにも行きません。あなたはフィールドのあちこちで彼を追いかける必要はありません。ただそこに立って、彼をあなたのところに戻らせてください。

15 それで、私は「先生」と言いました。「さて、聖霊を受けたとき、あなたはどのように行動しましたか?」と私は言いました。

彼は言った、「神を賛美しなさい、御霊が発声するので私は他の言葉で話しました。」

私は「大丈夫、誰がそこにいたの?」と言いました。

「約150人」と言いました。

「あなたは教会にいますか?」

「はい。」

「そして、彼らは皆英語を話す人々でしたか?」

「はい。」

私は「では、どのように話しましたか?」と言いました。

そして彼は「私は異言で話しました」と言いました。

私は言いました、「あなたの話の中で、あなたは聖霊の証をしました。」

「はい、はい。」

「...あなたは聖霊を受けたのですか?」

「はい。」

「会衆はあなたを理解しましたか?」

彼は「何で、いいえ!」と言いました。

私は言いました、「それは使徒行伝2章と4章によるものではありませんでした」と私は言いました。「すべての人が彼が生まれた母国語で聞いたからです。みじん切りにされた言葉は全くありませんでした。すべての人は自分が生まれた母国語で聞いていました。」私は言いました、「それなら、使徒行伝第2章4節によれば、あなたは確かにそれを決して手に入れませんでした。」

司会者がすぐそこに私にそれを与えたので、それはその聖書をすぐそこにノックしました。

16 私は言いました。「さて、ペンテコステの日に、誰もが自分の言語で聞いていました。ミンチはまったくありませんでした。」

彼は言った、「ああ、あなたが混乱しているところがわかります、ブラナム兄弟。」彼は言った、「ほら、聖霊、それが最初に来たとき」と彼は言いました、「私たちは天使の言葉で話します。それには解釈があります。しかし、あなたが解釈を得るとき、パウロが言ったように、それらのいくつかで解釈できる言葉があります。」と彼は言いました。

私は「はい、わかりました」と言いました。私は言いました、「それでは、私たちが聖霊を受けるとき、それは誰も理解できない異言です、私たちが舌で話すとき、聖霊だけを受けるといえることですか?」

彼は「それだけです」と言いました。

「そして、私たちがバプテスマを受けて体に入った後、私たちは解釈できる異言を受け取ります、見てください。それですか?」

「ええ。」

私は「それならあなたは馬の前にカートを持っている」と言いました。私は「それならあなたはここにいます」と言いました。「それから、ペンテコステの日に、彼らが聖霊を受け取ったとき、彼らはあなた方全員とは違った方法でそれを受け取りました。」と私は言いました。私は言いました「あなた方全員がそれを受け取りました、誰もそれを理解していません。彼らがそれを受け取ったとき、誰もがそれを理解しました。」私は、「これらの人たちは、解釈するための才能を持っていました...」と言いました。

17 私は言いました、「それなら、あなたが彼らに解釈の賜物を与えると、彼らも聖霊を持っていました。なぜなら、彼らはあなたが話すという賜物を得たのと同じように解釈を持っていて、彼らは彼らをからかって嘲笑していたからです」。その理由はありません。

それで、私は言いました、「もし神がこれらの人々に何かをしたと言ったら...誰もが彼ら自身の舌で彼らを聞いたとしたら?」

彼は、「しかし、彼らは異言で話していました。」と言いました。

そして私は言いました「ちょっと待って そこにいる不信者は言った、「見よ、話しているこれらのガリラヤ人のすべてではない、そして私たちが生まれた私たち自身の舌ですべての人をどのように聞くのですか? これらは話している、彼らはガリラヤ語を話すガリラヤ人ですが、私たちは私たちが生まれた私たち自身の異言でそれらを聞いています。」

ほら、彼はその時どこにも立つことができませんでした、ほら。

私は「今」と言いました、「それはそのようだったかもしれません」と私は言いました。私は「それが起こるのを見た」と言いました。

18 ある時、スペインの小さな女の子があなたに話していました(テープで聞いたと思います)...そして私は言いました「私は今と同じように話していました、そして彼女は私を聞いていました、そしてちょうどそれから...そして彼女は通訳に言った、「私は彼がスペイン語を話せないと思った」。さて、テープを再生して英語でしたが、インスピレーションを得たとき、彼女はスペイン語でそれを聞いたのですが、それを聞くことができませんでした...英語で一言も理解できませんでした。それまでのところ、...彼女が持っているもの(てんかん)についてすべて彼女に話しました、そして彼女は暖炉のそばに座って、黄色いトウモロコシを食べ、食べ過ぎて激しく病気になる、そして寝て、てんかん発作に彼女を投げました、ほら。それ以来、彼女はそれらを持っていました。それで彼女は癒されました。」

それで彼は言いました、「まあ、今ちょっと待って!」彼は言った、「彼らは...私はあなたがどこにいるのかわかります...」

19 私は言いました、「兄弟よ、なぜあなたがこの質問を与えられたのだろうか」と私は言いました、「あなたは使徒行伝第2章4節について話していて、それから使徒行伝第10章49節に行きました。」私は言いました。「サマリア人が聖霊を受けたとき、どのようにして使徒行伝第8章を除外しましたか? 彼らが異言で話したと言っている聖書はありません。」さて、「私は言った」あなたが気づいたら、エルサレムに集まった[私は今あなたの側を取っています、見てください]、「私は言いました」すべての国から集まった男性がいました、先に進んで言いますーメデスそしてペルシャ人、改宗者、見知らぬ人、そしてマケドニア人ーああ、あなたは知っています、彼らがいた場所はすべてそのようでした。私は言いました、「今、彼らは皆そこにいて、彼らは彼らを、すべての人が自分の言語で聞いたのです。」

そして私は「今、そしてコーネリアスの家で」と言いました、「彼らがそこで異言で話すとき、彼らは彼らがここに戻ったのと同じことを彼ら自身の言語で聞いた」と私は言いました、「ペテロが言ったので、「最初にしたように、水が聖霊を受けるのを見て、水を拒否することはできますか?」と私は言いました。「神は彼のプログラムを決して変えません。聖霊が最初に落ちたこの使徒2章にあなたが立っているなら、それは残りの聖霊と協力するでしょう。」

20 私は言いました、「さて、それがとても重要であるなら、なぜサマリア人は聖霊を受けたときに舌で話さなかったのですか?」私は「彼らは皆ユダヤ人を話していたので」と言いました、ほら、ほら。「彼らは皆ユダヤ人を話しました。彼らは聖霊が来ることを証言しているだけなので、彼らが別の舌を持つ必要はありません。彼らは皆、彼らの言語とみんな話していました...」そして私は言いました、「そしてそれには理由はありませんでした。」

私は言いました、「3つの部族があります。ユダヤ人、サマリア人、異邦人です。」そして私は言いました、「さて、あなたが覚えているなら、異邦人....コーネリアスは100人以上の百人隊長でしたーイタリア人のバンドー割礼がありました。ローマ人とイタリア人、そしてそこにいたすべての人が一緒にいましたが、彼は話していました...最初と同じように、「これらが最初のように聖霊を受けたのを見て、水をどのように禁じることができますか?」

「つまり、それは最初と同じ方法である必要があり、すべての人が自分の舌で聞く必要がありました。」

21 私は、「聖書の中で、誰もが異言で話していることが一度あったことを認めます」と言いました(彼は非常に動揺していたからです)。

そして彼は言いました、「ハレルヤ! 今、あなたは道を進んでいます!」

私は言いました、「はい、それはバビロンにありました。他の人が言ったことを誰も理解していませんでした。」私は、「ペンテコステで、彼らはすべての人が言ったことを理解していました。」と言いました。私は言いました、「それは聖霊の溢れ出しでしたね。」私は言いました。「バビロンでは、彼らは皆、ペンテコステのように未知の言葉で話しました。誰も相手の言っていることを知りません。一人はこれをジャバリングし、もう一人はそれをジャバリングしました、そして彼らはそれがバビロンである以外何も知りませんでした。」を参照してください。

しかし、私は「ペンテコステで、すべての人は彼が生まれた自分の言語で聞いた」と言いました。

そして彼は、「まあ、私はまだ信じています」と言いました。「神に栄光を、私はそれを受け取りました! ハレルヤ! それは教会をより強くします。」

私は言いました「今待つて それについて話しているのではありません。私たちは聖書の教義について話しているのです、見てください。私たちはここで聖書にとどまります。」

22 そして、私たちが続けていくと、彼は「まあ」と言いました。「まあ、私は彼ら全員が異言で話し、インスピレーションを受けていたと信じています。」彼は言いました、「彼らが解釈からそれらを聞いたとは思わない。彼らは異言で話し、刺激を受けたと思います。」

私は言いました、「私はあなたに同意します、そして私たちはそれについての議論を終えます(参照)、彼らはすべて異言で話し、靈感を受けたのです。」そして、私は「今、それはまるで同じようなものだ」と言いました。「私たちは皆、ここジェファースンビルに集まっています。」と私は言いました。私たちはみんなここやきまに集まっています。「ペンテコステの饗宴が始まっています。」そして私は言いました、「あなたはスイス人、ドイツ人、そしてフランス人だと言うつもりです。ほら。そして、私たちは皆ここにいて、あなた方一人一人は人々のグループです。」

23 「さて、私とボーダーズ兄弟、ジーン兄弟がここに座っています。私たちは皆アメリカ人です。ほら。そして、あなたはグループを手に入れました、あなたはグループを手に入れました、そしてあなたはグループを手に入れました、なぜならそれが彼らのやり方だったからです。彼らはメデスとペルシャ人であり、さらにそこに集まったのです。」

そして私は言いました。「今、私たちは皆ここにいます。突然、強烈な風が吹くような音が天から聞こえてきます。それはあなた方全員でそこにいるのではなく、この家を満たします。そして、ここでは、私たちは皆聖霊に満たされていました。私たちは外に出て、あなたがここで最初に知っていること、私は英語です、そして私は最初に英語で話しに行きます(参照)、そしてあなたはそれをスイスにいても理解します。」

「ああ、いや! いいえ、いいえ!」彼は言った、「いいえ、あなたはあなたの中で話していました...」

私は言いました、「もしそうなら、私は彼にイエス・キリストの復活、聖霊の来臨について何と言っているのですか」を見てください。私は、「私はスイス語であなたに話しているのに対し、ジーンはドイツ語であなたに話し、ロイはフランス語であなたに話している」と言いました。

彼は言いました、「今、あなたはそれにかかなり近づいています。」

私は「かなり近いですか?」と言いました。私は言いました、「それが聖書が言っていることです。私たちは生まれた母国語ですべての人の声を聞いています」を参照してください。

彼は「ああ!」と言いました。

そして、モデレーター...私はそれを見ました。私はこれまでのところ、ボード上にチョークで書いていました。

それで私は「これで終わります」と言いました。

そして私は言いました、「それから彼らは皆話していて、お互いを理解していました(私がしたことはそもそもそれを捉えていました)。彼らは自分の言語を理解しなければなりませんでした。彼らが理解しなかったのはバビロンだけでした。ペンテコステ、彼らはすべての人を理解しました。」

24 福音はエルサレムから始めて全世界に行かなければなりません、そしてそれはその時全世界を襲いました、そこにある知られている世界を見てください。天国の下にあるすべての国々がそこに集まっていたので、それはそのように来なければなりません...宗教的な国々、見てください。それはペンテコストでした、ほら。そして、彼らは全世界を襲った。「エルサレムから始めて、全世界に行きなさい」を見てください。それで、それはキリストの復活の言葉で証言されなければなりませんでした。だから、それはその全世界に行きますね。そして、ここにいるこれらの空母、ここにいるこれらの人々(崇拝者)は、彼らの国に戻るでしょう。

その数日後のように、エチオピア人は降りてきて、ピリポはサマリアに行き、エチオピア人はアフリカに戻る道を進んでいました。そして、その大きな集会から聖霊がフィリップを呼び、彼を砂漠に立たせました。彼はイザヤ書を読んでいました。彼は言った、「あなたは何を読みましたか？」

彼は言いました、「誰かが私に教えない限り、どうすれば知ることができますか？ 預言者は誰のことを話していましたか？ 彼は崇拝するためにペンテコストまでそこにいたのです、ほら。

それで彼はイエスの名で彼にバプテスマを授け、エチオピアへのメッセージを持って喜んでエチオピアに行きました。それが行くことになっていたところです。

さて、ここに来ます...ここにありました。

25 私は今、言いました...それで、私は言いました、「モデレーターでさえ、誰もが理解できる言語で話していることをすでにそこにチョークで書いています。」みじん切りにされた言葉は一言もありませんでした。「つまり、あなたのペンテコストのバージョンはすでに非難されています。なぜなら、あなたのバージョンのペンテコストはバビロンに入れなければならないからです。使徒行伝第2章4節には入れられないからです。彼らは彼が生まれた彼自身の言語ですべての人を聞いたので、バビロンでは誰も何も理解していなかったからです。ご覧のとおり、ペンテコステ派のバージョンはすでにバビロンの創世記に戻っています。ですから、あなたはもうここペンテコステにいるわけではありません。」そして、私は「でも、もう少し先に進めましょう」と言いました。それはすでに私たちに与えられているからです。ですから、聖書のどこに行っても、最初のように戻ってくる必要があります。神は無限であり、変わることはできません。

26 彼は「まあ、彼らは……」と言いました。それから彼は残りの部分から始めました。彼は言いました。「しかし、ブラナム兄弟、ここから出てきたこれらの人々はメソジストやバプテストのようではなかったことを認めます。[ほら、私のバプテストに捨てて、ほら。]彼らはインスピレーションを受けて話していました。」

私は言いました「はい 私はそれに同意します。」

それで彼らはそれをマークしました。

「彼らがインスピレーションの下で話していたこと、彼らが言っていたことに同意します。」私は「説教するたびに同じように説教しますね。英語で、インスピレーションを得て」と言いました。それはそれを解決しました。私は言いました。「私が説教したり預言したりするたびに、それは未知の言葉ではありません。パウロは、彼らに通訳がいなければ、野蛮人のようなものではないと言いました。それは教育などのためではありません。」を参照してください。

だからそれは彼のためにそれをノックアウトしました、見てください。

27 「まあ……」と彼は言った。

そして私は、「まあ、それがすべてインスピレーションの下にあったことに同意します」と言いました。私は「今このように」と言いました、「彼らの何人かは今...私たちのように...」と私は言いました。「当時ガリラヤでガリラヤ人に話していた人たちは、インスピレーションを受けていました」彼ら？ ほら、まるで私たち全員が英語のように……」

彼は、「ガリラヤには誰もいない……」と言いました。

私は言いました。「それはガリラヤにあり、彼らは皆ガリラヤ人が話していました。彼らはガリラヤにいたので、彼らはそこで彼らを聞いていたガリラヤ人でした。それが国の言語でした。」私は言いました、「それからこの男が出てきて、彼は母国語でガリラヤ人に話しました、そして彼は私が英語であるのと同じようにガリラヤ人でした、英語でイギリス人に話しました、見てください。」

そして、彼はそれを持っていませんでした。

「まあ」と彼は言いました、「それは次々に落ちたかもしれません。彼らはそれを分割しただけです。たぶん、これはしばらくの間彼らに話しに来るでしょう。」

私は、「貧しいガリラヤ人の後、彼らは何も聞こえませんでした」と言いました。私は、「彼が復活について彼らに話していたとき、彼はその時靈感を受けていなかった」と言いました。彼にそう言った。ほら、それは彼にどこにも立つ場所を与えませんでした。

そして、私たちは聖書をすぐ近くに、そのように真っ直ぐに梳かすまで、そのように続けました。それはその元に戻らなければならないでしょう、最初に、見てください。

ご覧のとおり、それは未知の言葉で話しているのではありません。それはインスピレーションの下で話しているのです、見てください。今朝ここで聖霊を受け取った場合のように、皆さんの中で私は靈感を受け、聖霊の復活が靈感の下で私に来たことを告げます。

28 さて、ほら、異言は聖霊ではありません、ほら。

彼は言いました、「それなら、あなたは異言で話すことを信じないのですか？」

私は言いました「もちろん、私は異言で話すことを信じています。」そして私は、「それが賜物の一つの中で、聖書に記録されている方法によると、賜物の中で最も小さいです」と言いました。私は言いました。「そして、その人は異言で話すでしょう、しかし彼は異言で話す前にまず聖霊を持っていないければなりません。そうでない場合、彼はなりすまし者です。」私は言いました、「それなら、あなたが言ったように、彼は人と天使の両方の異言で話すことができましたが、それでも聖霊はありません」と私は言いました。「パウロが言ったので、私は話しますが...私は話すことができますが人と天使の異言で話し、愛を持っていないので、私は何もないのです。」私はすべての知識を理解し、聖書を正確に正しく解釈することができますが、このバプテスマがなければ、私は何もありません。貧しい人々を養うための品物と、犠牲として燃やされる体と、山を動かす信仰を与えます。そうすれば、私は何もありません。、私はまだ始めていませんね。今、私はこのすべての信仰を持っています。」

私は言いました、「今、その時のエーゲリー博士のように答えます、そのルター派の学部長。」そして私は彼に言いました、「あなたは私たちがそこで行った議論を覚えていますね。」

彼は病人のために祈ったその魔女の女性について私に話していました、そして彼らは癒され、神は癒すことができないと言いました。あなたはそれについて聞いたことがありますね。「覚えていますか？」

私は「もちろん」と言いました。

29 私たちはこれらの男性の多くがやって来て、こう言います。「兄弟、私は私の手に癒しを得ました。ふう！感じますか？」彼らはしません。しかし、それは信仰に基づいているので、人々は同じように癒されます、そして、仲間は彼がそのように神に近づいていると思っています。

そして、私はこれらの人々の多くが舌で話しているときにそこから出てきたときに聖霊を得ると信じています。私はそれが聖霊だと信じています。しかし、それは彼らがそれを得たという証拠ではありません。彼らの人生は実を結ぶでしょう。

それらのいくつかはそこから出てきて...あなたは私のビジョンを聞いた。私がある時にミシヤワカに行ったとき、色のついた少年が「ここにいる！ここに彼がいます！」あなたが知っている。ええと、覚えていますか、彼らには一人の男が異言で話し、もう一人の男が通訳をしていました。私は人生でこれまで聞いたことがありませんでした。そして今、私があるあなたに言ったら、あなたは私を止めるでしょう、ほら。

30 それで...しかし、この仲間は議論を失いました。もちろんもっとたくさんありますが、私があるところで話していることがわかりますね。最初に戻ってください、ほら、最初に戻ってください。

[ある兄弟は、「これらの人々の多くは異言で話し、バプテスマを受けていると感じていますが、実際にはそうではありません。」と言います。]

彼らはそれを持っていません。

[兄弟は、「彼らはそれを告白しましたが、彼らは……」と言います。]

彼らはそれを持っていませんね。

真の聖霊が入ってきたとき、人間、人間の中に生きるのはキリストの命なのです。

そして、イエスが聖霊を受けたとき、彼らはイエスが舌で話していることについて一言も言わなかった。

さて、バプテストのヨハネについて:彼は生まれる6ヶ月前に母親の胎内で聖霊を受けました。彼はどのように舌で話しましたか?

[兄弟は、「聴覚障害者と愚か者はどうですか?」と言います]

ええ。彼らが話すことも聞くことさえできないならば、彼らはどのように舌で話すことができるでしょうか?

エリザベスとメアリーはどうでしょうか...ヨハネの母であるエリザベスは聖霊に満たされ預言されました...舌で話さないでください、ほら。

31 だから彼らは足を持っていません....

しかし、私は彼らの主要なリーダーの何人かとメインボードと話しました。そして知的な人々はそれを認めるでしょう、あなたが見るが、彼らは...しかし....

彼らは何と言いましたか? それが教会の教義です。「それが私たちの……」あなたはそれについて何をするつもりですか? ありますね。彼らが今それを変えようとする、彼らは組織の外にいます。まあ、それはまさにその通りです。

私は自由にとどまることができます。組織を持っている必要はありませんね。私は自由に生まれた市民であり、話す権利と私が言いたいことは何でも-言論の自由-を持っています、そして私は定められた牧師なので、彼らは私が結婚、埋葬、またはバプテストを受けのを妨げることはできません。福音を説教しているのですね。

私たちが民主主義である限り、私たちはどの組織にも属している必要はありません。そして今、私たちはそれが...その中にあると言います....

分かりますか? あなたは完全に確信していますか?



www.messagehub.info

説教の語り手

ウィリアム・マリオン・ブラナム

"...第七の御使が吹き鳴らすラッパの音がする時には、神がその僕、預言者たちにお告げになったとおり、神の奥義は成就される。" 黙示録 10:7